

## インターラクターブの 活動と国際理解

～広島西RCバングラデシュ支援事業  
井戸建設のその後～

### インターラクターブ活動報告

大崎 ほのかさん



こんにちは。私たちは、鈴峯学園インターラクターブの部員です。今日は私たちのインターラクターブがどのような活動をしているかを紹介させていただきます。

私たちは、毎週金曜日に学校で例会を開き、どのようなことができるのかを話し合いながら活動計画を立てています。

私たちが年間を通じて行っている活動には次のようなものがあります。

#### 1. 特別養護老人ホーム「千歳園」の訪問

ここでは、お年よりのみなさんのお話し相手になっています。

#### 2. 募金活動への協力

春と秋の年2回行われるあしなが募金運動や、バングラデシュの支援団体であるボンドゥーが主催する募金活動に参加しています。

また今年も8月下旬に行われる24時間テレビにも参加する予定です。

#### 3. 献血の手伝い

年に1回学校で行っています。今年は、12月18日に行う予定です。全校生徒に呼びかけて、協力してもらっています。毎年200名近い生徒たちが協力してくれます。

#### 4. 広島市社会福祉協議会の行事への参加

広島市の社会福祉協議会主催のボランティア活動に参加するものです。保育園や障害者施設でのお手伝いなど、この夏もたくさんの方々が参加します。

#### 5. バングラデシュのスズガミネ校維持のため

## の募金活動

スズガミネ校は、2000年にインターラクトクラブがバングラデシュに作ったプレ・スクールで、小学校入学前の子どもたちに「読み、書き、計算」を教えていました。この学校を維持するためには、年間約5万円かかります。そこで、全体に呼びかけて、デポジットになっている自動販売機の紙コップやペットボトルを寄付してもらい、それを換金しています。

## 6. 使用済み切手集め

学校の生徒がある程度集まった段階で、ワールドフレンドシップセンターというところへ送っています。これは、発展途上国の子どもたちの予防接種代などに使う費用の一部となっています。

私がインターラクトクラブの活動を通じて感じたことは、ボランティア活動は、人の役に立つとともに自分自身のためになるということであり、とてもやりがいのある活動です。老人ホームではお年寄りの方たちと話をしたり、足長募金やバングラデシュ支援の募金活動では、多くのことを学ぶことができました。

これらの活動ができるのは、広島西ロータリークラブのみなさまのご支援のおかげです。韓国研修や指導者講習会、地区大会など多くの行事にも参加させていただき大変感謝しています。今後とも、私たち鈴峯学園インターラクトクラブへのご支援を、よろしくお願ひいたします。本日は、どうもありがとうございました。

~~~~~

## バングラデシュでの感想

### 岡崎由布子さん



バングラデシュに行って、私が一番驚いたのは、信号も白線もない道路です。車やバイク、自転車や人が同じ道路で物をよけながら走行していることにびっくりしました。クラクションは常に鳴らされていて、車のすぐ横を人が歩いていまし

た。日本では考えられない光景だったので一番驚きました。

バングラデシュでの食事は、カレー味のものが中心でした。日本とは違うパラパラの米にスープ状のカレーをかけて食べたり、ドライカレーのような甘口で野菜の入ったカレーをナンのような少し甘みのあるパンと一緒に食べました。想像していたよりもとてもおいしくて、食事の時間がとても楽しかったです。

また、たくさんの場所で色々なことも学びました。その中で私の心に残った場所は3つあります。

1つ目は多山総合学校です。ここでは私達より少し小さな子供達が勉強していました。楽しそうに勉強している子供達の笑顔がすごく輝いていて、感動しました。バングラデシュの親の考え方方が違うということも知りました。学校に行くというメリットが何かを知らないために、子供に家の手伝いをさせる親が多いことを知りました。多山総合学校では、母親も仕事ができるように、教室の上にはたおりの仕事場を設けるという工夫がしてありました。まだまだ、学校に行くことが出来ない子供達がたくさんいる中で、このような工夫がされていることで学校に通う子供達がもっと増えれば良いなと思いました。私達が普段学校に通えるのは、充実した教育環境があったり、理解してくれる保護者がいるからだと改めて考えることができました。

2つ目は、井戸の見学です。私達が見学に行つた場所は、貧困のために国から隔離されている場所でした。表には警備員が見はっていて、鍵がかけられていきました。中に入ると木で出来た家々が並んでいて、放し飼いの犬や裸足で歩いている小さな子供達やその親達が私達の様子を見ていきました。井戸がある場所には、小さな学校もありました。小学校1年生くらいの子供達が楽しそうに勉強している姿がとても心に残りました。隔離されていることは仕方ないことだと思ったけどやっぱり悲しかったです。

3つ目は、UNHCRです。ここでは難民についてのお話をしてくださいました。難民キャンプの動画を見たり、どんな活動をしているのかを聞きました。「ただお金を寄付することが本当に良いことなのか」という言葉が心に残りました。困つ

ている人を助けるということは簡単ではないことを学びました。今でもたくさんの人達が戦争や紛争で苦しみ難民となっています。そんな人達に私達は何ができるのかということを考えさせられました。

私は今回の研修で、たくさんのこと学びました。私達が普段当たり前に過ごしている中で、感謝しなくてはいけないものがあること、そして、大きなことはできないかも知れないけど、困っている人の助けになることです。インタークトクラブでの色々な活動は身近な所から人の役に立てると思います。この経験を活かして、困っている人の役に立てるような人間になりたいです。

~~~~~



鈴峯高校インタークトクラブ  
顧問 吉川 将弘先生

### スズガミネ校

This section displays four photographs illustrating the educational environment at the Suzugamine School. The images show children in a classroom setting, students in a hallway, a group of children sitting at a table, and a classroom interior.

### 多山総合学校とPHALS

This section displays four photographs illustrating the educational environment at the Matsuyama General School and PHALS. The images show students in a classroom, a group of people in a hall, two people using a computer, and a classroom interior.

### 社会学習

This section displays four photographs illustrating community learning activities. The images show people in a classroom, a group of people in a hall, and two people using a computer.

### 井戸

This section displays four photographs illustrating the construction of wells. The images show a well being drilled, a group of people standing near a well, and a group of people standing in front of a building.

### 確実な発展

This section displays four photographs illustrating sustainable development. The images show a road, a bridge, and a building.

■国際目標  
160% (1987) → 520% (2008)  
日系企業も進出 (1990 日通 HIS)  
15歳以上識字率  
54% (1970) → 84% (2007)

一方で…  
世界共通の貧困基準(1日1.25\$)以下で生活する人々は総人口の半分以下  
「地雷爆弾被害」で亡き子供 (上図)